

## ★本校の企業就職までのおおまかな流れ

＊個々や状況により、前後する場合があります。

＊2年時：進路希望を確認し、職場体験や企業実習を行います。

＊3年時：5月「前期進路相談」・・・進路希望や希望職種、実習先の確認をします。

6月「企業実習」・・・希望職種を基本に、1週間程度の企業実習をします。

7月「実習の振り返り」・・・振り返りと企業の評価返しを行い、希望や今後の実習について話合います。

8月～11月・・・「企業実習」と「実習の振り返り」をする中で、本人の希望と企業の雇用が合致した場合、求人票の作成を企業に依頼します。

12月「後期進路相談」・・・進路希望の最終確認、求人票の内容確認  
履歴書の作成、求職申込書の作成をします。

1月「採用選考」・・・面接練習や選考試験対策をします。

2月「選考結果」・・・内定通知が届いたら、入社同意書等、必要書類の提出をします。

3月「障害者就労・生活支援センターこまちの登録」・・・障害者職業センターやこまちの職員と面談します。

4月「入社」・・・支援センターこまちのジョブコーチ支援や面談など、働き続けるための支援があります。

## ★就労に向けて必要な力 ―職業準備性ピラミッド―

「職業準備性ピラミッド」とは、障害の有無に関わらず、人が就業する上で必要とされる健康管理・日常生活管理・対人スキル・基本的労働習慣・職業適性の5項目を、優先順位で並べています。

仮に適性のある職業に就いたとしても、また、作業能力が高くても、ピラミッドの底辺から順にしっかりと備わっていないと働き続けることは難しいことを表しています。

学校生活は、「働く力の土台」になる学習や基本的な生活を大事に取り組んでいます。働くために、今、どんな力がついていて、課題は何かなど参考にしてください。

